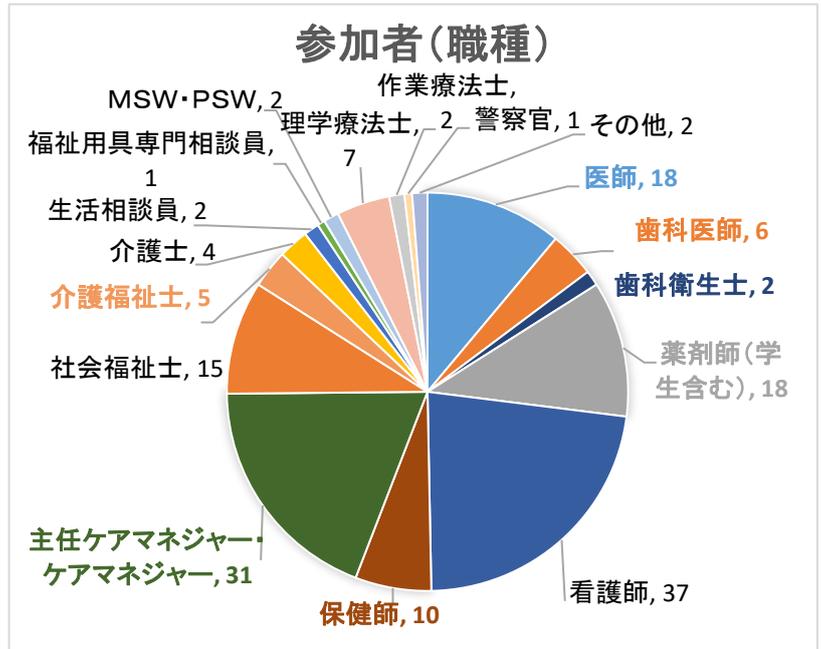


■ 当日参加者数

医師	18
歯科医師	6
歯科衛生士	2
薬剤師(学生含む)	18
看護師	37
保健師	10
主任ケアマネジャー・ケアマネジャー	31
社会福祉士	15
介護福祉士	5
介護士	4
生活相談員	2
福祉用具専門相談員	1
MSW・PSW	2
理学療法士	7
作業療法士	2
警察官	1
その他	2
合計	163



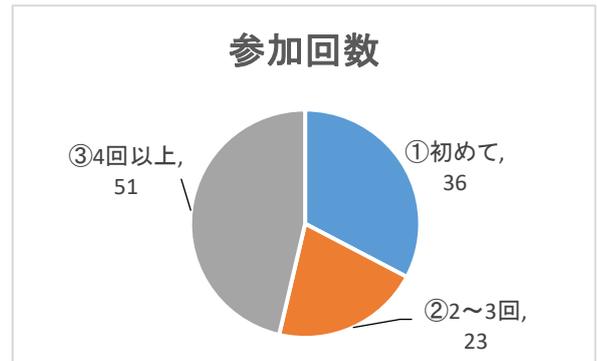
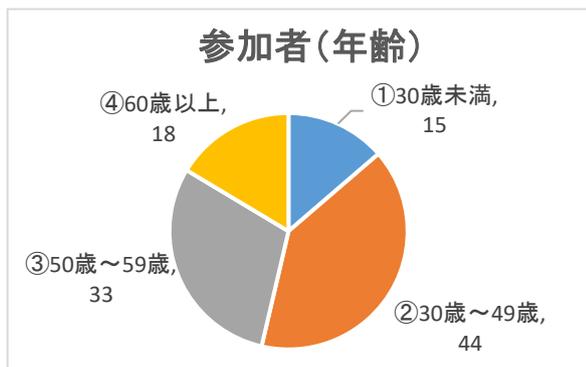
アンケート回収 110 名
アンケート回収率 67.5%

■ 年齢

①30歳未満	15	13.6%
②30歳～49歳	44	40.0%
③50歳～59歳	33	30.0%
④60歳以上	18	16.4%

■ 参加回数

①初めて	36	32.7%
②2～3回	23	20.9%
③4回以上	51	46.4%

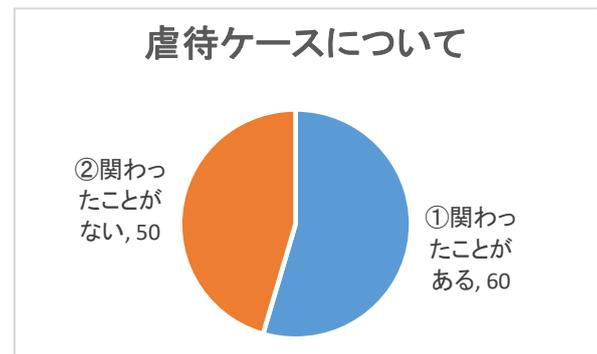
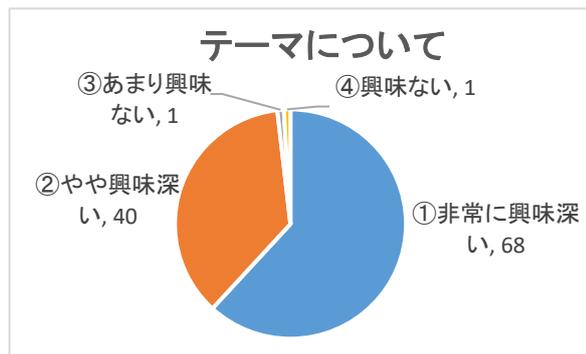


■ テーマについて

①非常に興味深い	68	61.8%
②やや興味深い	40	36.4%
③あまり興味ない	1	0.9%
④興味ない	1	0.9%

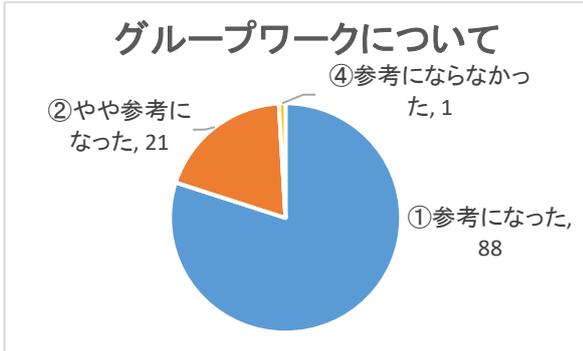
■ 虐待ケースについて

①関わったことがある	60	54.5%
②関わったことがない	50	45.5%



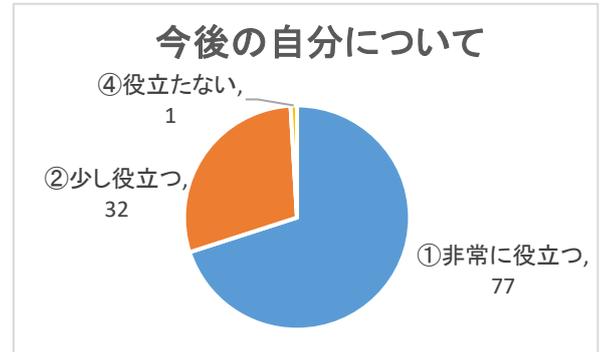
■グループワークについて

①参考になった	88	80.0%
②やや参考になった	21	19.1%
③あまり参考にならなかった	0	0.0%
④参考にならなかった	1	0.9%



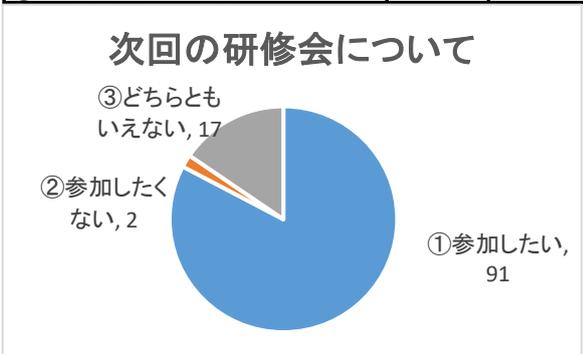
■今後の自分について

①非常に役立つ	77	70.0%
②少し役立つ	32	29.1%
③あまり役立たない	0	0.0%
④役立たない	1	0.9%



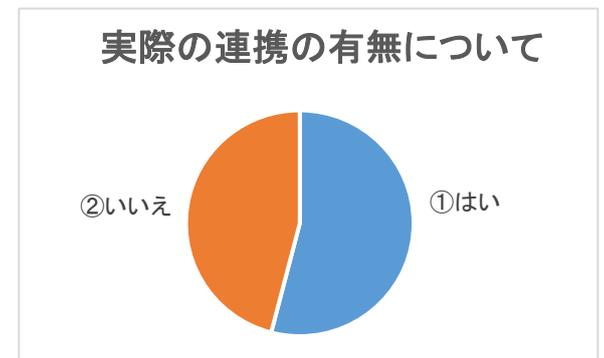
■次回の多職種連携研修会について

①参加したい	91	82.7%
②参加したくない	2	1.8%
③どちらともいえない	17	15.5%



■実際に連携したことはあるか

①はい	40	54.1%
②いいえ	34	45.9%



■印象に残ったところ

- ・グループ以外の回答で、私達のグループにはない発想があり、とても参考になりました。
- ・大勢の意見が聞けると自分では気付かなかったポイントがたくさん明らかになり、とても勉強になりました。
- ・自分だけでは考えられないことがありよかったです。
- ・自分と違う専門職の方のご意見、視点がとても参考になりました。
- ・他職種の方の経験談が伺えてよかった
- ・多職種で関わる事で、数々の意見が出た。視点の違いは興味深い
- ・多職種の関わりで関係が変わる話が印象的でした
- ・動画での研修は新しかった
- ・動画での症例紹介分かりやすかった。
- ・動画のクオリティが高く、イメージしやすかった
- ・包括支援センターの方達が作成された動画が自然で分かりやすく情景が入ってきやすかった。業務の傍らお疲れ様でした。
- ・細やかな配慮での研修企画、動画作成など、とてもわかりやすく、工夫が凝らされていたのには感動しました。多職種が一体となつての研修で、とても良い研修で勉強になりました。
- ・病院内で勤務していると実感がわかりませんが実際の社会では多職種の方が連携して成り立っていることがとても印象的でした。
- ・包括支援センターの役割が多岐にわたることがわかった。高齢者の虐待の場合、まず包括に連絡すればよいと知った。
- ・高齢者虐待の連携のことが、グループワークで知ることができてよかったです。
- ・在宅「あるあるケース」だと思い、今までに関わったケースを重ねて考えることができました。
- ・地域での包括支援、学びになりました。
- ・コアメンバー会議の仕組み
- ・どこまでが虐待なのかの判断は難しいと感じた。
- ・介護離職はしない方がいい

- ・ 養護者と関わっていくこと
- ・ 息子さんの気持ち
- ・ 非常に繊細に扱う必要性が再確認できた

■ 残念に思うところ

- ・ グループワークの時間がもう少し欲しい
- ・ 時間が短く話し合いができなかった。あと30分あると充実すると思います。
- ・ 最後に、実際の関わりで良い事例の流れがあるとわかりやすい。
- ・ コア会議で虐待と判断された場合、どのように対応されるか知りたかった
- ・ 息子の結婚に関する回答は如何なものかと…
- ・ 地域包括のシステム自体へ理解が不足しており、全体像がつかめなかった。
- ・ グループワークをKJ法以外でやってほしい。
- ・ グループワークの声が聞こえにくい。

■ 今後取り上げてほしいテーマ

- ・ 8050問題・9060問題
- ・ ACP
- ・ 多職種の中で、お互いの専門を生かしきれているか
- ・ ナーシングホームが流行り出している今、多職種連携することで在宅で最期まで過ごすことができると、改めて確認したい。
- ・ コンパッションシティあるいはコンパッションコミュニティを実現するための方法について
- ・ 独居、身寄りなく亡くなった方の対応。高齢者等終身サポート事業について、西濃地域の実態は？
- ・ 生活保護・生活困窮
- ・ 世帯分離
- ・ 単身の高齢者を狙った詐欺事件など
- ・ 施設内や病院内の職員による虐待
- ・ 子どもの虐待問題
- ・ ハラスメント
- ・ ヤングケアラー
- ・ 精神疾患の人

■ ご意見

- ・ 20回を迎え未だに顔の見える関係づくりを目的にしていることはどうなのでしょう…参加している方々も同じだと思います。この研修をやる目的や対象者を再度確認が必要かと思われます。(参加回数に応じてかえるや参加されていない方々へのアプローチを検討)市役所職員の方も参加者として実際ワークに入り、研修の参加の立ち位置で考えていただけると尚よいかと思いました。
- ・ 顔の見える関係づくりの目的は達しているのではないかと。参加者が固定しないように、研修方法、内容を見直したらどうか。
- ・ 研修会の方法が、ずっと同じなので変えてもいいのではないかと。他の自治体、地域で行われている体制などで、導入すると良いと思われるようなものについて考えられるようなやり方はないのでしょうか？これまでのグループワークでは、結果として噴出した困った事象に対して、各職種が対応可能なことについて整理してきたように思います。顔の見える関係作りという点ではこれで良いと思いますが、困った事象が起こらないようにする、予防的対策をするにはどんな体制作りが必要なのかについて議論することも大切なのでは、と思います。防災訓練の中で、その地域にどんな障害を持った家庭があるのかを地域で共有するとか、コミュニティーナースのシステムで地域の人たちの日常の変化を早期に発見して対策を取るとか、「お互い様シート」のような報告システムを用いて、困っている人の情報を集めるとか、いろいろなやり方を行っている地域のことが学べる機会になるように、というやり方もあるかと思います。
- ・ スライドや動画がよく作られていて楽しかったです。毎回、各職種の方が長い時間をかけて準備してくださっていることに感謝します。
- ・ ビデオ・司会お疲れ様でした。準備大変でしたね。演技もうまかったです。今までと知合う研修でよかった。
- ・ KJ法ではなく新しい形のグループワークで楽しかった。
- ・ 回数を増すにつれ、ハードルが高くなってきましたね。今回のような、法改正に即した旬なテーマは、惹かれます。司会、書記と初めて参加の方に負担ないような配慮も嬉しいです。←(皆さんの周りからの声。話が長い司会者だと自分の話が長く本題が話せない時も)周りのチーム員の方も負担なくスムーズに進みありがたいです。
- ・ 司会進行や記録・発表がとても苦手なので、その事がとても気になり、もし司会や発表が当たったらどうしようかと悩みます。研修には参加したいですが、司会や発表はグループのできる方に、決めて頂けるとありがたいです。
- ・ 先生が意外？にも気さくに話せるので嬉しいです。